



山口・果子乃季が「コロナ退散！厄払い和菓子セット」をオンラインショップで予約販売開始。

全国へ配送可能なアマビエの上生菓子と水無月のセット。

山口県内の店舗では、アマビエスイーツも販売中。

あさひ製菓株式会社（山口県柳井市、代表取締役社長：坪野恒幸）が運営する和洋菓子専門店「果子乃季」のインターネット店で「コロナ退散！厄払い和菓子セット」の予約販売を開始しました。上記セットに含まれるのは、アマビエの上生菓子2個と2種類の水無月各2個。

アマビエの上生菓子



上生菓子とは、季節の趣を取り入れ、職人が伝承の技を使ってひとつひとつ手作りする和菓子。

果子乃季では、新型コロナウイルス感染症収束を願って、妖怪「アマビエ」をイメージした上生菓子を職人が考案・商品化しました。

江戸時代から伝わる妖怪「アマビエ」は、「疫病が流行したら、私の姿を書き写した絵を人々に早々に見せよ。」と告げて海の中へ帰っていったと言い伝えられ、疫病退散のご利益があるとされている。

完成したのは、こしあんを包んだ練り切りに、ぱっちりとした目が印象的なアマビエをイメージした細工を施した、可愛らしい上生菓子。

開発の際に職人が参考にしたのは、息子さんが描いたアマビエのイラスト。

「大変な世の中だけど、可愛らしいアマビエのお菓子を食べて、美味しく、楽しく乗り越えてほしい」という思いを込めて、作られました。

お茶のお供におすすめで、ご家族でくつろぐおうち時間に、楽しんでいただける和菓子です。



水無月

アマビエの上生菓子とセットでお届けするのは、京都発祥の和菓子「水無月」。

「水無月」は、ういろうの上に甘く煮た小豆を乗せて、三角に切り分けたもの。



平安時代には、旧暦の6月1日に氷室から氷を切り出して食べ、暑気払いをする宮中の風習があったそうで、三角に切ったうしろはこの氷をかたどったものだと言われています。また、小豆の赤色には厄除けの意味があるとされており、京都では夏越しの祓えが行われる6月30日に、残り半年の無病息災を祈念して「水無月」を食べることが風習とされています。

果子乃季では、上品な甘さの「白」と、風味豊かな「濃茶」の2種類を製造しており、今回は各種2個をセットにしてお届けします。

新型コロナウイルス感染症によって、全国的に緊迫状況が続く中、疫病退散のご利益があるとされる「アマビエ」をイメージした上生菓子と、厄払いを祈念して食べる「水無月」を美味しく食べて、おうちで楽しく過ごし、みんなで難局を乗り越えていけますように。

「コロナ退散！厄除け和菓子セット」は果子乃季の楽天店、yahoo!店で購入可能。数量限定販売。
アマビエの上生菓子2個・水無月（白）2個・水無月（濃茶）2個：1,360円（税込・送料別）

果子乃季 楽天店：<https://item.rakuten.co.jp/kasinoki/amabie/>

果子乃季 yahoo!店：<https://store.shopping.yahoo.co.jp/kasinoki/amabie.html>



山口県内に34店舗ある、果子乃季では、「アマビエさんのオムレット」という生ケーキも販売中。

営業時間の短縮・従業員のマスク着用・来店客への手指のアルコール消毒の協力要請など、感染症拡大防止策を講じながらも、「気軽に外出もできない中、おうちでは美味しいスイーツを楽しんで欲しい」という思いで、スタッフ一同、お客様のご来店をお待ちしております。

【果子乃季の店舗情報はこちらから】

<https://www.kasinoki.co.jp/allshop.htm>

この件に関するお問合せ先

あさひ製菓株式会社 山口オフィス 宮川までお願いいたします。

TEL 083-902-1600 / mobile 080-1921-6008 / Email y-miyagawa@kasinoki.co.jp

<http://www.kasinoki.co.jp>